

イーストスプリング インド投資マンスリー

2023年5月号

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号

加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。

最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

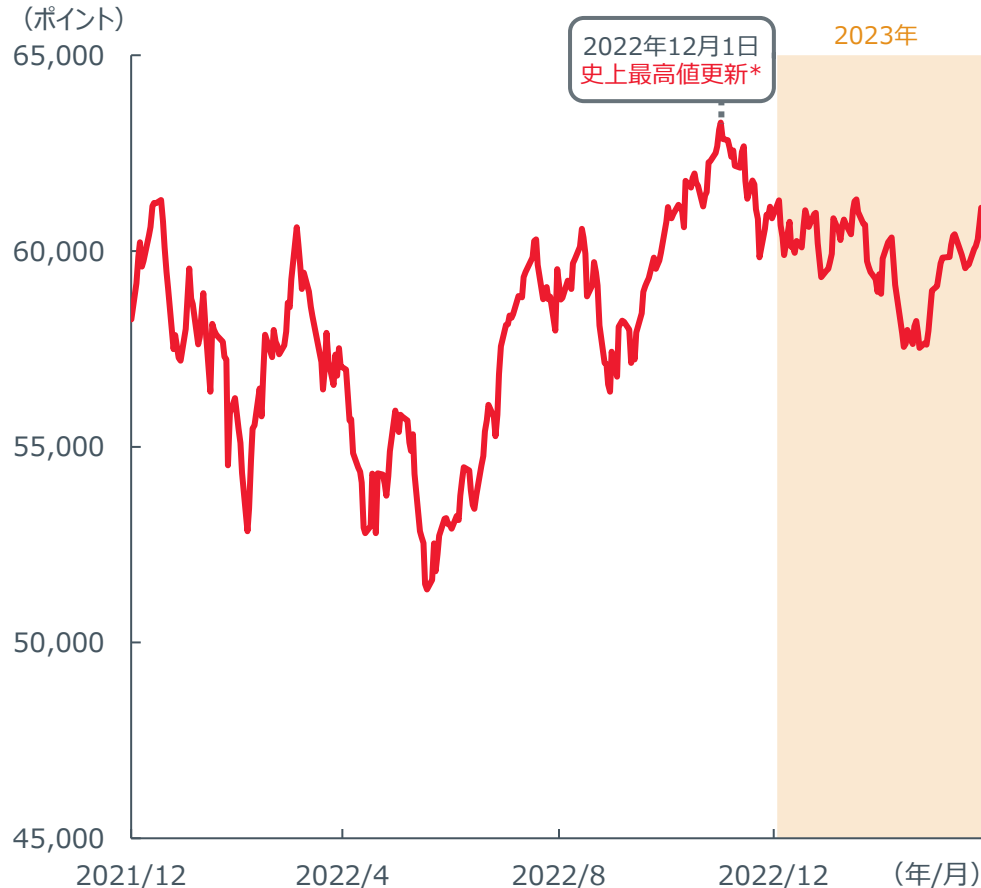
この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

インド投資マンスリー
動画配信中！



株式：海外投資家からの資金流入などに支えられ上昇

SENSEX指数の推移（2021年12月末～2023年4月末、日次）



2023年4月の振り返り

インド株式（SENSEX指数）は、3.6%上昇しました。

3月半ばに発生した米欧の金融不安が和らいだことを契機とした、海外投資家による積極的な買いがインド株式市場を支えました。国内投資家資金も流入額は縮小したものの買い越しとなりました。

また、6日に行われた金融政策決定会合で、インド準備銀行（RBI、中央銀行）が政策金利を引き上げずに据え置いたことも追い風となりました。

中型株と小型株は大型株を上回り、それぞれ5.9%、7.3%の上昇となりました。

セクター別では、情報技術を除くすべてのセクターが上昇しました。

規模別指数の期間別騰落率（2023年4月末時点）

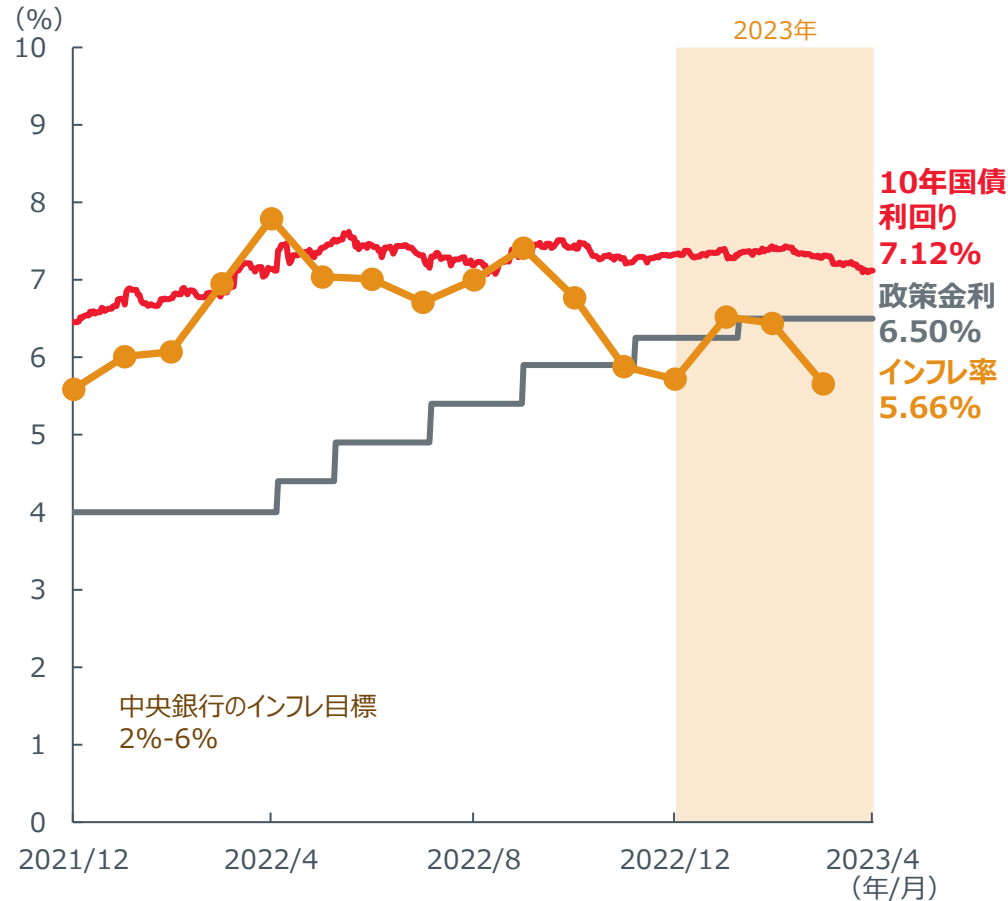
	1ヵ月間	3ヵ月間	6ヵ月間
大型株 (SENSEX指数)	3.6%	2.6%	0.6%
中型株 (BSE中型株指数)	5.9%	3.4%	0.5%
小型株 (BSE小型株指数)	7.3%	2.5%	0.3%

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※全てプライス・リターン、インドルピーベース。*終値ベース。

債券：金利据え置き、インフレ率、10年国債利回りは低下

政策金利*、インフレ率**、10年国債利回りの推移

(2021年12月末～2023年4月末、日次)



2023年4月の振り返り

10年国債利回りは低下（価格は上昇）し、7.12%となりました。

インド準備銀行（RBI、中央銀行）は6日、金融政策決定会合を開催し、政策金利を6.50%で据え置くことを全会一致で決定しました。2022年5月から6会合連続で引き上げられた金利が1年ぶりに据え置かれました。市場では追加利上げが予想されていたため、今回の決定は市場にとってのサプライズとなり、債券価格が上昇（利回りは低下）しました。

12日発表の3月のインフレ率は、前年同月比+5.66%と2カ月連続で低下し、RBIの目標上限である6%を下回りました。

債券利回りと利回り差の変化幅

	2023年 4月末	2023年 3月末	変化幅
10年国債利回り	7.12%	7.31%	-0.19%
10年社債利回り***	7.63%	7.82%	-0.20%
利回り差	0.51%	0.51%	0.00%

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

*レボ金利、**消費者物価指数（CPI）上昇率（前年同月比）、同項目のみ月次。新基準（2012年=100）による統計を使用。2023年3月まで。

***10年社債利回りはBloomberg FIMMDA India Corporate Bond Curve AAA Year Corporateの利回りを使用。

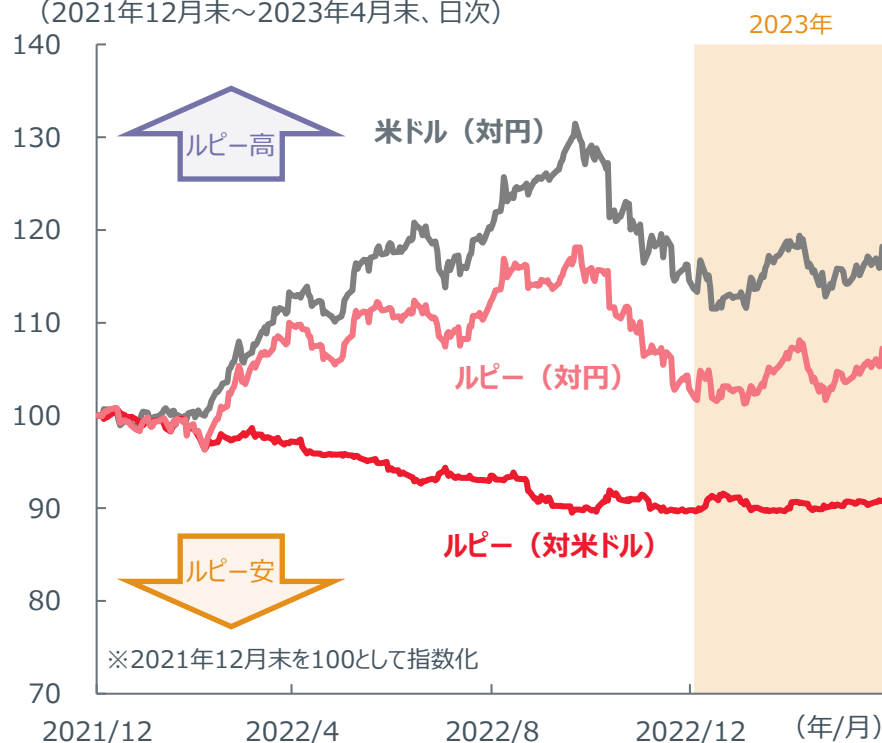
利回り差等については四捨五入の関係で数値間で整合しない場合があります。

為替：ルピーは対米ドル、対円ともに上昇

- 4月のルピーは、対米ドルで0.4%、対円では2.4%の上昇となりました。
- 2020年以降のルピーの動きをみると、他の新興国通貨と比べて対米ドルで相対的に安定した推移となっています。

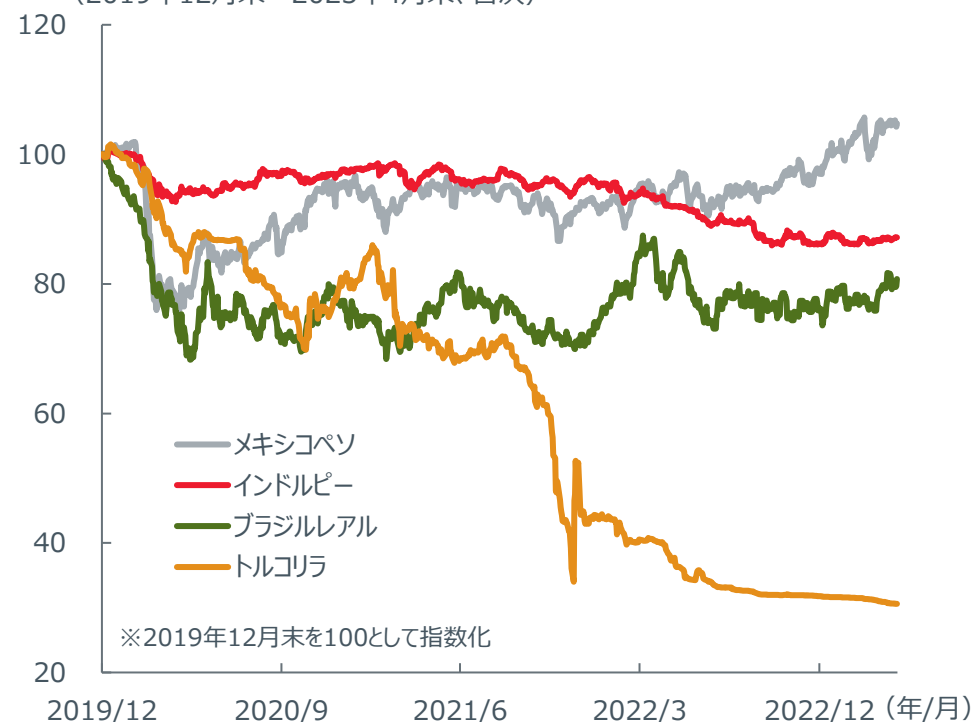
ルピー（対米ドル、対円）の推移

（2021年12月末～2023年4月末、日次）



主要新興国通貨（対米ドル）の推移

（2019年12月末～2023年4月末、日次）



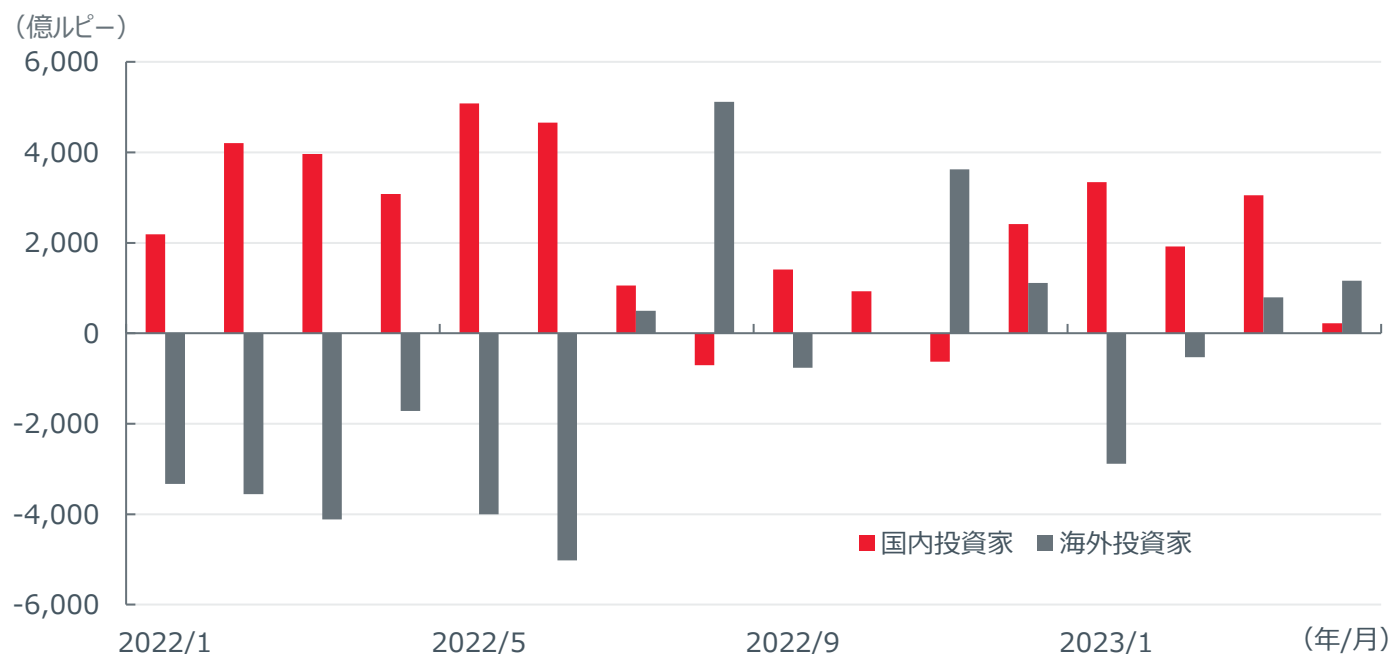
出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

国内投資家による株式投資が継続、海外投資家資金は回帰傾向

- 国民の資産運用への関心の高まり等を背景に、国内投資家による株式投資は継続しています。
- 2023年3月、4月は、国内投資家資金、海外投資家資金ともに純流入となりました。

インド株式市場への資金流出入の推移

(2022年1月～2023年4月、月次)



出所：SEBI（インド証券取引委員会）、NSDL（National Securities Depository Limited）のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

IMF世界経済見通し：インドの23年の成長率は5.9%予測

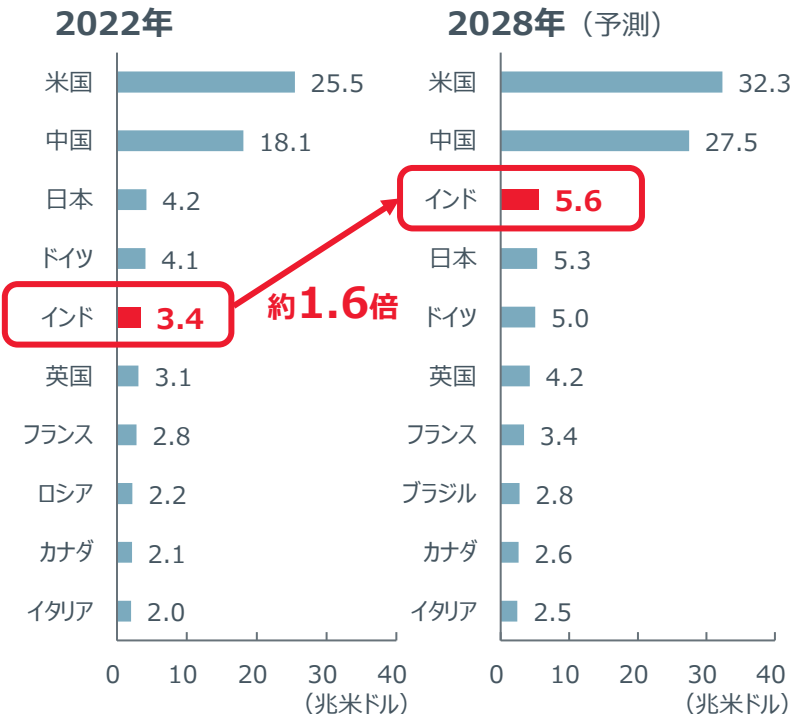
- 国際通貨基金（IMF）は4月に最新の「世界経済見通し（2023年4月）」を発表しました。インドの2023年の成長率見通しは0.2ポイント引き下げられ5.9%となったものの、2024年以降は6%台の成長が続くと予想されています。
- 名目GDPランキングの上位10カ国の中で一番高い成長率（2023年から2028年の年平均成長率：6.1%）が予想されています。

主要国・地域の実質GDP成長率見通し

（単位：％、2022年～2024年）

		2022年	2023年		2024年		
		(実績)	(予測)	前回差	(予測)	前回差	
世界		3.4	2.8	-0.1	3.0	-0.1	
	先進国	2.7	1.3	0.1	1.4	0.0	
		米国	2.1	1.6	0.2	1.1	0.1
		ユーロ圏	3.5	0.8	0.1	1.4	-0.2
		日本	1.1	1.3	-0.5	1.0	0.1
	新興国	4.0	3.9	-0.1	4.2	0.0	
		インド	6.8	5.9	-0.2	6.3	-0.5
		中国	3.0	5.2	0.0	4.5	0.0
		ASEAN5*	5.5	4.5	0.2	4.6	-0.1
		ロシア	-2.1	0.7	0.4	1.3	-0.8
		ブラジル	2.9	0.9	-0.3	1.5	0.0
		メキシコ	3.1	1.8	0.1	1.6	0.0

名目GDPランキング（2022年および2028年）



出所：IMF世界経済見通しデータベース（2023年4月）のデータに基づきイーストスプリング・インベスメンツ作成。前回差は2023年1月時点の予測値との差。

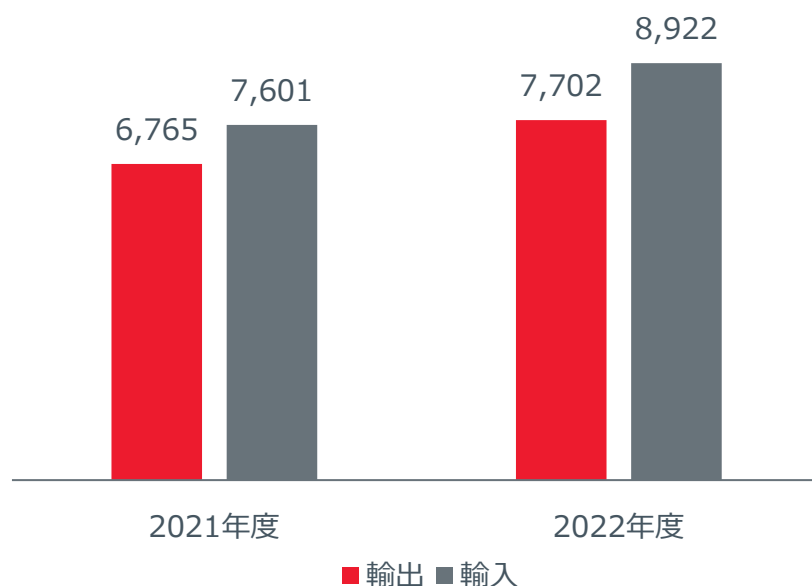
*ASEAN5は、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム。

インドの2022年度の輸出額は過去最高の7,700億米ドルに

- インド商工省が4月に発表した2022年度の輸出輸入統計によると、輸出額はサービス部門に牽引され、昨年度比14%増の約7,700億米ドルとなりました。
- 主要30セクターのうち、17セクターが前年度比でプラスとなっており、中でもスマートフォンを含む電子機器の輸出は2021年度の156.6億米ドルに対して2022年度は235.7億米ドルと前年度比約51%の増加となっています。
- インドは、第2期モディ政権がPLI（生産連動型優遇制度）を導入するなど、「Make in India」のスローガンのもと、国内製造業の強化を進めています。国内の電子機器分野においてもその効果が現れていると考えられます。

2021年度、2022年度の輸出・輸入額

（単位：億米ドル）



2022年度の輸出上位10品目

品目	金額 (億米ドル)	前年度比 (%)
鉄鋼・非鉄金属・産業機械・自動車等	1,070.4	-4.6
石油製品	945.2	+40.1
宝石・宝飾品	379.6	-2.9
有機・無機化学品	303.1	+3.2
薬品・医薬品	253.9	+3.3
電子機器	235.7	+50.5
繊維	161.9	+1.1
米	111.4	+15.2
綿糸・手織り製品等	109.5	-28.5
プラスチック・リリウム	83.7	-14.9

Point

ICEAによると、2022年度の携帯電話輸出額は前年度比2倍の約111億2,000万米ドルに増加しており、電子機器の輸出額の約半分を占めています。

出所：インド商工省、ICEA（インド携帯電話・電子機器協会）のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※インドの会計年度は4月から翌年3月まで。例えば2022年度は2022年4月～2023年3月。

当資料に関してご留意いただきたい事項

- 当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。
- 当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

※ MSCI指数はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

※ 業種区分は、原則としてMSCI/S&P GICSに準じています。GICSに関しての知的財産権は、MSCI Inc.およびS&Pにあります。